

予算

★平成22年度曾於市一般  
会計補正予算(第8号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、2億7  
36万5千円を追加し、  
累計予算は239億1  
833万円となります。

歳入の主なものは、国  
庫支出金の身体障害者  
施設支援費負担金22  
09万4千円、地域介護・  
福祉空間整備交付金2  
501万7千円、また県  
支出金の国民健康保険  
基盤安定負担金324  
1万6千円の増額と財  
政調整基金繰入金96  
07万4千円の減額等  
であります。

歳出の主なものは、  
交付決定に伴う国民健  
康保険特別会計操出金  
39331万円、身体障  
害者授産施設の利用者  
増に伴う旧法施設支援  
費4418万7千円、  
グループホームにスプ  
リンクラマー等を整備す

るための地域介護・福  
祉空間整備事業補助金  
2501万7千円、大  
川原峡周辺公園整備及  
び悠久の森排水路整備  
等のための林業施設災  
害復旧費1210万円  
等であります。

★平成22年度曾於市国  
民健康保険特別会計  
補正予算(第3号)

(全会一致 可決)

今回の補正は670  
1万1千円を追加し、  
累計予算は61億103  
万6千円となります。

歳入の主なものは、交



災害を受けた三連轟

付決定等に伴う国庫支  
出金119万2千円、療  
養給付費等交付金25  
51万8千円、県支出  
金99万2千円及び一般会  
計繰入金3930万9  
千円等であります。

歳出の主なものは、療  
養諸費等の増に伴う保  
険給付費621万6千  
円、前年度国民健康保  
険料療養給付費負担金  
等の精算に伴う償還金  
2121万1千円と、財  
源調整に伴う予備費3  
952万8千円の追加等  
であります。

★平成22年度曾於市後  
期高齢者医療特別会  
計補正予算(第2号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、29  
5万円9千円を追加  
し、累計予算は4億8  
695万円となります。

歳入の主なものは、  
交付決定に伴う保険基  
盤安定繰入金283万  
6千円であります。歳  
出の主なものは、交付  
決定に伴う後期高齢者  
医療広域連合納付金2  
83万6千円の追加等  
であります。

★平成22年度曾於市介  
護保険特別会計補正  
予算(第3号)

(全会一致 可決)

今回の補正は、保険  
給付費の執行見込み額  
の増額に伴うもので、  
1447万6千円を追  
加し累計予算は44億9  
006万8千円とな  
ります。

歳入の主なものは、  
国庫支出金485万7  
千円、支払基金交付金

議案第69号

★曾於市山中貞則顕彰  
記念事業基金条例の  
制定について

(賛成多数 可決)

国内の政治・行政・  
経済・文化等の振興発  
展に大きく貢献され郷  
土の誇りである故山中  
貞則氏を顕彰し今後の  
曾於市及び地域の発展  
に寄与することを目的  
に提案されたもので、

基金は全て寄附金によ  
るものです。それによ  
って土地、建物(山中  
中邸)の取得、整備及  
び管理、運営を計画す  
るものです(土地は無  
償提供)。その目標額  
は5億円の予定であり  
ます。当初提案は、平  
成23年4月1日からの  
施行日であったが、当  
議案が報道されたこと  
で寄附早期受入れの状  
況が予想され、施行日  
を平成23年1月1日に  
訂正したい旨の申出が  
あり急きよ再審査され  
たものであります。

主なもの、財部水  
道事業の薬品等の追加  
と末吉簡易水道事業及  
び財部水道事業の施設  
修繕費であります。

資本的支出は470  
万円追加し、総額3億  
3238万8千円とな  
り財部水道事業の畠中  
地区水道管布設工事の  
追加であります。

議案第75号

★曾於市水道事業給水  
条例の一部を改正する  
条例の制定について

(賛成多数 可決)

曾於市水道事業において、上水、簡易水道それぞれ事業毎に合併前の水道料金及び給水負担金体系となつて  
いるが、合併後5年を経過し料金等を統一することにより市民の負担の公平化と、事務の簡素化のため提案されたものです。従量料金が1㎡につき110円となるものであります。

指定管理期間 5年

(平成23年4月1日～平成28年3月31日)

★大隅月野地区公民館

(全会一致 可決)

指定管理者

大隅町月野校区公民館

指定管理期間 5年

(平成23年4月1日～平成28年3月31日)

★大隅北地区公民館

(全会一致 可決)

指定管理者

大隅町北校区公民館

指定管理期間 5年

(平成23年4月1日～平成28年3月31日)

指定管理の指定

★花房峽憩いの森

(全会一致 可決)

指定管理者

曾於市森林組合

指定管理期間 5年

(平成23年4月1日～平成28年3月31日)

★大隅恒吉地区公民館

(全会一致 可決)

指定管理者  
大隅町恒吉校区公民館

請願

★免税経由制度の継続  
を求める請願書

(全会一致 採択)

提出者 鹿兒島市山田町  
1647番地

紹介議員 園山 一則  
五位塚 剛

漆間 純明  
渡辺 利治  
吉村 幸治

意見書

★環太平洋戦略的経済  
連携協定(TPP)への  
対応に関する意見書

(全会一致 可決)

○TPPは、関税撤廃の例外を認めない完全な貿易自由化を目指しており拙速にこの交渉に参加し、関税などの国境措置が撤廃された場合、農畜産物の輸入は増大し、国内の農業生産額や食糧自給率及び農業・農村の多面的機能の維持・存続を根底から揺るがすことになり、農業を基幹産業とする本市が危機的・深刻な影響を受けます。とは明白であります。よつて、我が国の農業振興や食糧安全保障をはじめ経済全体に与える影響を十分考慮し、時期尚早とも言われているTPP交渉への参加を行わないよう、国に対し意見書を提出しました。

★「公立高校の振興方針」に関する早急な見直しを求める意見書

県教育委員会の説明によると「県立高等学校の廃止に関する基準」に、厳しい基準が設けられ、廃止方法を強化することが示されました。市内には高校が3校あり、地元から高校がなく

なることは、地域の振興発展にも大きな支障を来すことから、県知事と県教育委員会に対して意見書を提出しました。

各委員会等の委員選任

議会運営等調査  
特別委員会

市民の福祉向上と市制の発展に向けて、議

員の自己研鑽のための議会運営の基準を設け、厳格に実践することにより、議会の責任を果たし、市民の負託に耐えうる議会を構築していくことを目的に設置されました。

委員長 久長登良男  
副委員長 渡辺 利治

議会運営委員会  
副委員長 海野 隆平  
委員 谷口 義則

大隅曾於地区  
消防組合議会議員  
議員 渡辺 利治

※瀬戸口三郎氏は、12月22日付けで議員辞職しました。



守ろう 日本の稲作